

会 工 同 窓 会 会 報

発 行 所
福島県会津若松市
徒之町1の37
発行人 吉田一栄

創立八十周年に向けて

創立八十周年記念事業の 成功を祈って

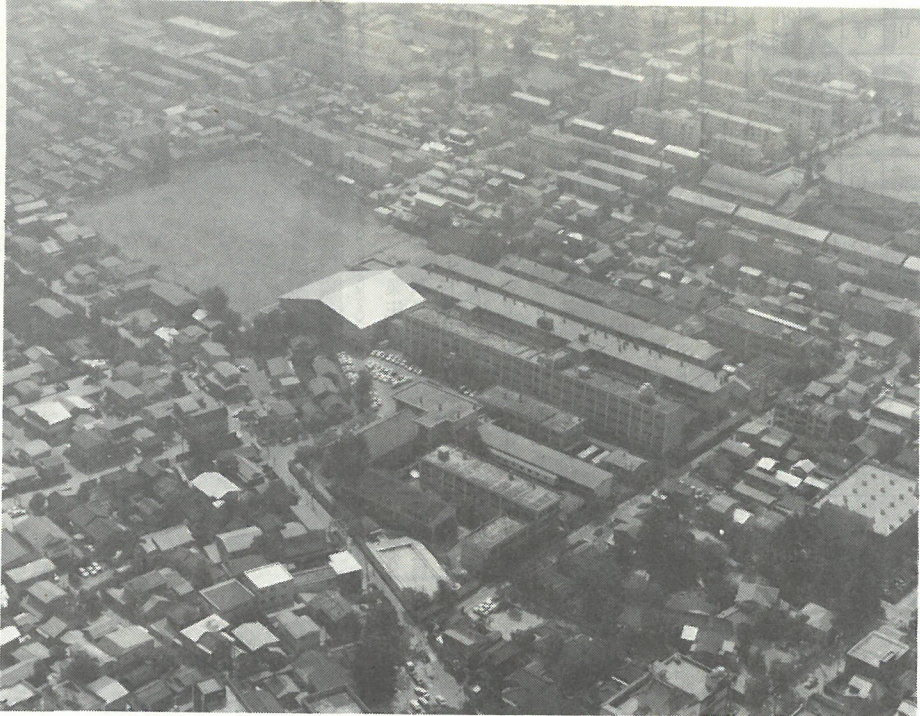
会津工業高等学校長

小森 五 良



このたび同窓会会報が発刊されること、まことに同窓に堪えません。始めに母校の近況を申し上げます。昭和三十五年より始まった校舎の増改築も十年間、概ね完了しましたが、一部の建物については、いろいろの事情で遅れており、昭和五十四年には弓道場を、五十四年には剣道場と第二合宿所を、五十五年には石鹼製造工場、本年は建築科実習棟と逐年建設して参りました。また、設備も年々近代化に向けて充実しており、全国的にも誇れる会工として発展の一途を辿っております。

ここに特筆すべきことは、何と云っても県内はもとより、全国的にも誇れる化学工業科の石鹼工場の建設であります。廃油を原料として、無燐の粉石鹼を製造するほか、その時の廃液を完全に処理できる設備を完備したことであります。即ち廃油の活用や無燐やら、廃液処理と各種の公害防止について、十分な教育効果を上げております。また弓道場・剣道場、さらに第二合宿所の建設により、生徒の活発化をはかっております。お陰様で、野球をはじめ各種のスポーツの成績は、会津地区では七八割の種目にわたって、本校が優勝を独占しており、さらに県大会でも数種目にわたる優勝や、多くの種目の上位入賞、東北大会でも弓道の団体優勝、その他の種目の上位優勝、さらには全県大会出場等、県内におけるスポーツ校として有名になっております。また、就職進学面においても非常に好成績であり、文武両道にわたって良い成績をあげております。



応援歌
頑張れ 頑張れ 頑張れ 健男児
栄えり 健男児
理想の道を 振りかざし
破邪の剣 とりて 起て
我等が敵を
勝ち 勇姿を 会津に示す
奮えり 健男児
フレアー フレアー フレアー

母校創立八十周年を 迎えるにあたって



会工同窓会会長
会津会工会会長

吉田 一 栄

昨年に引き続きの農作物冷害の心配も遠のき、会津盆地は、黄金の波打つ今日この頃となりました。同窓生の諸兄には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。不肖、私が同窓会長の重責をお引受けてから、諸兄のご指導、ご協力のお蔭をもちまして早や二ヶ年が経過し、歳月の流れが、如何に早いかを感じている次第であります。

には創立以来八十の歳を数えるに至りました。この記念すべき年に当って、母校がより大きく伸長し、発展することを願って昨年十二月、八十周年記念行事ならびに本郷分校三十周年記念行事実行委員会が発足し、同窓生の諸兄および関係各位のご協力のもとに、この記念行事を成功に導くため一丸となって、日夜努力している次第でございます。

佐藤勝次氏よりは多額の協賛を頂き、その後多数の同窓生諸兄および関係各位からは、続々とご賛助を頂き力強く感じているものでございます。

同窓生の皆様、この栄光ある永い歴史をもつ母校を祝福し、今後のより一層の発展を願って、記念行事完了のためご協力を下さいますようお願いいたします。

校歌碑の建立、松江奨学資金の充実は、今後の母校が私共、続く後輩の健全育成と資質の向上に、必要にして欠くことのできない施設であり、制度であるものでありますので、この事業の成功に向けて是非、皆様の協力をご期待するものでございます。末筆ではございますが、会員諸兄のご健康とご多幸をお祈りします。

め各種のスポーツの成績は、会津地区では七八割の種目にわたって、本校が優勝を独占しており、さらに県大会でも数種目にわたる優勝や、多くの種目の上位入賞、東北大会でも弓道の団体優勝、その他の種目の上位優勝、さらには全県大会出場等、県内におけるスポーツ校として有名になっております。また、就職進学面においても非常に好成績であり、文武両道にわたって良い成績をあげております。



完成になった化学工学科粉砕製造工場

創立八十周年を 迎えるにあたって



会津会工会幹事長 山内 清 司

日毎に朝夕の冷気が肌に感ずる今日、この頃となりました。会津盆地を囲む山々に、紅葉の季節が訪れるのもそう遠いことではないでしょう。

同窓生の諸兄には、ますますご元気に活動のこころと存じます。

私どもの同窓会も皆様のご協力のもと、年を追って発展の途を辿っております。昨年の総会には百四十名の皆様のご参加を頂き、盛會裡に終ることができました。席上、母校が昭和五十七年には八十周年に当るので、記念行事を行うべきであるとのご意見を、多くの方々から頂きましたので、同窓会・学校・PTAの方々にご検討をお願い致しましたところ、皆様のご意見が一致して、記念行事を実施すべきであることが確認されましたので、行事の計画・立案を行うべく、実行

委員会を組織することに決定しました。

同窓会・学校・PTAの三者より準備委員をお願いし、行事の骨子の概要、委員の依頼などについてご相談申し上げ、昭和五十五年十二月委員のご依頼を申し上げた次第でございます。

諾を賜り、昭和五十六年五月、同六月に委員会を開催し、記念行事の計画とその取りくみ方などについて慎重なご討議をお願いし、その実施に踏み切った次第であります。そして七月には第三回の委員会を開催して募金活動を開始するに至りました。開始以来、諸兄の絶大なご協力によりまして、順調な滑り出しを見せ、成果を上げております。一方同窓会員名簿の編集も着々と進行し、来年当初には八十年間の会工出身者の動

静が、明らかに不足はございません。

いま、会津の各所に十月二十五日に開催される会工同窓会総会のポスターが掲示されております。

この総会には、東京・東海・近畿およびその他の地区より、代表の方のご参加が予定されており、盛會が予想されます。それでは、同窓会の繁栄と母校の隆盛をはかることに、来年の創立八十周年記念事業を成功させるため、今後とも同窓生の皆様のご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

皆様のご健康とご発展をお祈りし、ご挨拶と致します。



本校の現状と 創立八十周年記念について

会津工業高等学校教頭

北村 源 龍

女子一七名、教職員数一三〇名で、創立の古さとその規模の大きさにおいては本校の地位にあります。

昭和56年度 3 年生進路希望状況														
クラス 項目	3 T 繊維	3 L 工業	3 K 商業	3 C ₁ 化工 1	3 C ₂ 化工 2	3 M ₁ 機械 1	3 M ₂ 機械 2	E 電気	D 電子	A 建築	計			
就 県内	15 (2)	11	13	15	16	19	20	27	9	13	158 (2)	309 (5)		
職 県外	18 (3)	16	17	10	15	18	18	7	18	14	151 (3)			
進 学	大学	0	2	2	2	4	2	0	4	11	11	38	76 (1)	
	短大	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	5		
	専門	2	2	2	9	4 (1)	1	0	0	0	20 (1)	33 (1)		
	各種	0	7	3	0	0	0	0	1	2	0	13		
自営 など	2	2	1	0	0	1	0	1	0	1	8			
在 籍	36 (5)	40	37	36	40 (1)	40	39	39	40	38	385名(内 女子6名)			

卒業生の進路については左表のようであります。

八十周年記念事業についての概略を申し上げます。先ず会工同窓会館の建設であります。立坪総面積二三〇㎡、鉄筋平屋立て予算総額三千万円、現在の格技場(剣道場)に並べて建築されます。柔道場及びその他控室等に、平常は使用させていただくことになりま

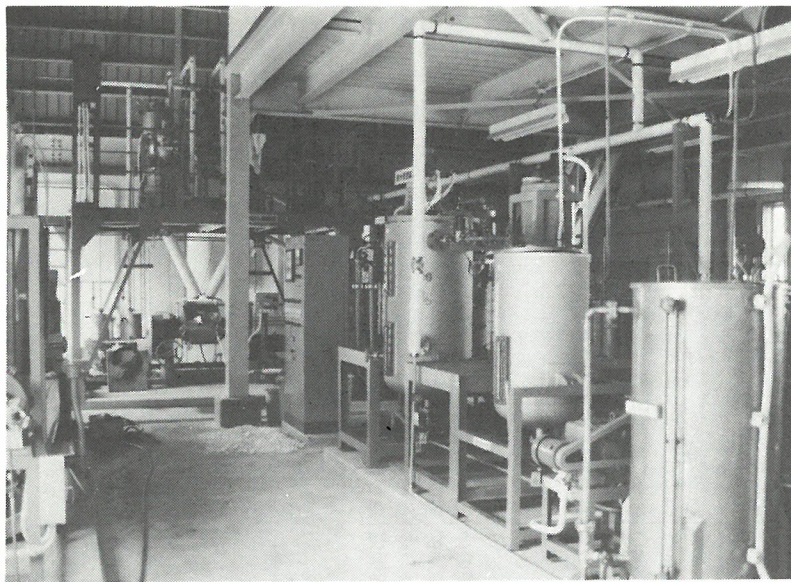
次に、校舎本館前庭の整備と校歌碑の設置が計画されていますが、これは募金の状況に応じて実施可能な範囲でなされることとなります。

予想構図としては、磐梯石を石組に松を配し山つづじの灌木をそえ、その庭の一隅に校歌碑を置くといったもので、校舎とマッチした庭園を、と考えています。

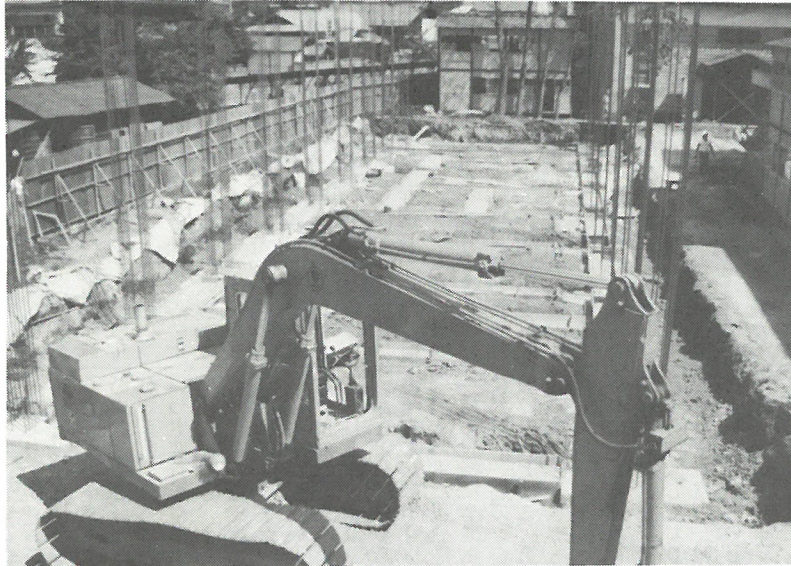
また、松井春次氏の奨学資金を総額一五〇万円に増額することも計画されています。そのほか、記念誌の発行と同窓生名簿の作成事業があります。記念誌は、一五〇頁程度の四、五〇〇部を予定しています。

同窓生の名簿作成については、会員の住所確認が最も困難な仕事で、現在事務局の編集担当者が極力正確な住所を全同窓生について調査中ですので、皆様のご期待に添えるものが発行されるものと思っておりますので協力をお願い致します。

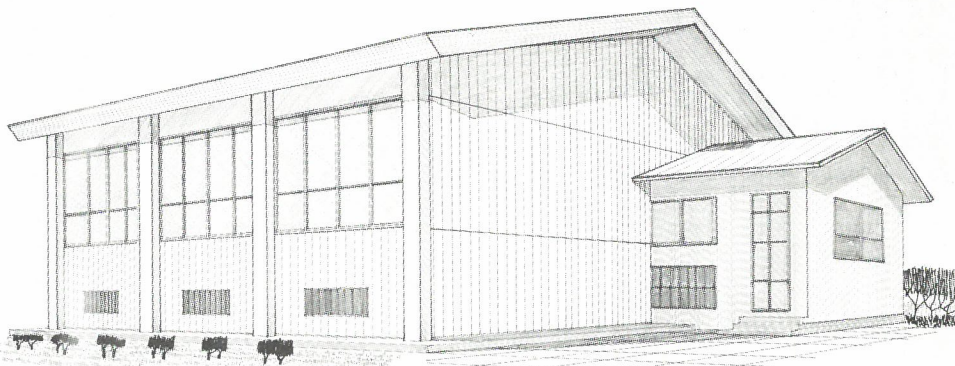
以上、八十周年記念の式典関係以外の事業計画概要を申しのべましたが、思えば会津工業高校の前身である福島県立工業が、明治三十五年九月に県下唯一の工業技術者養成の任を負って設立認可されて爾来八十年、幾多有志の方々及び同窓生の諸兄から賜りました物心両面にわたるご援助により、今日に至りましたことを思うとき、あらためて感謝の念を深くすると共に、その責任の重大さを感じるものであります。本校の益々の隆盛のために、同窓生の皆様の一層のご協力をお願いし、予定されている八十周年記念事業のすべてが立派に完了することを願って止みません。



全国的にも注目され始動開始した石岐工場



来年3月完成予定 建築科実習棟



80周年記念事業 同窓会館完成予想図

特定建設業許可 (特一53) 第5019号
許 可 業 種 土木・建築・舗装・上下水道施設工事
一般建築士事務所 第7(104)1021号
JSA認定製材工場 第LUII5184号

秋山建設株式会社

取締役社長 秋山 五郎

〒九六五
福島県会津若松市米代一丁目四の三十三
電話(〇四二) 27-3770(3772)

元福島県立会津工業高等学校校長
社団法人全国工業学校長協会名誉会員
会津 満鉄 会長 会長

菊地 巖

(昭和四年染織科卒)

会津若松市門田大字面川字中島六十三
TEL 〇二四二(27) 1801

全会津会工会顧問

新田 義一

(大正八年窯業科卒)

会津若松市米代一丁目一五十六
TEL 〇二四二(27) 2590

一般建築設計施工

伊東建設工業株式会社

代表取締役 伊東 正

福島県会津若松市門田町
大字年真町字大道西六三六番地
電話 二七七八〇五八番

総合建設業

県知事許可(特一五一)第五一〇〇号

滝谷建設工業株式会社

代表取締役社長 目黒和雄

本社 支店 常務取締役 目黒幸衛
TEL(二〇四二) 二四一三五
若松 支店 福島県大沼郡三島町大字宮下字尻三
郡山出張所 福島県会津若松市米代一丁目二の八
福島県郡山市安積町大字笹川字南角
西会津出張所 福島県耶麻郡西会津町大字野沢字祝ノ前

会津土建株式会社

取締役社長 菅家 忠男

TEL 26-4500・271764
会津若松市追手町五十三十六

会津漆器製造卸ギフト用品販売卸

AK (有)会津クラフト

代表取締役 平山 恒雄

会津若松市本町八番四十六号
電話(〇二四二) 27-8741(代)

会津若松市上町三番三号

会津ガス株式会社

取締役社長 相馬 正夫
専務取締役 梅津 正夫
会工同窓会一同

給油・洗車・六カ月点検・民間車検・自動車保険

株式会社

会津ゼネラル

本社 会津若松市門田町年貢町大道西五
TEL 27-2400

期日 昭和五十六年十月二十五日(日)午後一時
場所 会津東山温泉 愛友ホテル
会費 四〇〇〇円
新卒者 一、五〇〇円

会工同窓会総会

講演 会津地方総合開発について

会津若松市長 桜木幸次氏

技術とアイデアの一矢建設
ユニークな住いとスマートな店舗造り
若さにあふれる一矢建設へどうぞ

株式会社 一矢建設

代表取締役 山田 尚

会津若松市日新町十一十四
電話 26-0018(代)

翔 ぎ

新しい時代を造る 確かな槌音!

株式会社 東條建設工業

代表取締役 東條 秀夫

会津若松市蚕養町九十三
TEL 25-3661(代)

総合建設業 一級建築士事務所
JAS製材認定工場

畠武木建設株式会社

代表取締役 武田 健

会津若松市町北町大字始字深町十番地
22-5088
電話 25-2121(代表)

販売 鉄鋼、金物、工具、セメント、標識
建設機械

先産業株式会社

代表取締役 遠藤 俊平

TEL 二五〇五〇一七
会津若松市北町中沢
TEL 二五〇三三四一(代)
(49号線バイパス)
喜多方・田島・只見・福島・郡山

福島県会津若松市大町石堂三二五番地

武田土建工業株式会社

取締役社長 武田 信孝

TEL 24-1018

あなたは何段? 最高位はどなた?

『酒豪コンクール』開催中!!

くくつ 飲めば飲む程 豪華賞品

れれつ 安くてうまくて 雰囲気満点

た たつ ノドに自慢は「カラオケ」でナジヨダシ

。水商売らしくない
会工の店ここにあり。

酒亭道場

会津若松市上町八一(スズツネ肉店南角)
TEL 二五〇〇四〇

年記念事業寄附申込者ご芳名一覽

[illegible]

会 計	庶 務	事 務 局 長	青 年 副 部 長	青 年 部 長	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	幹 事	副 幹 事 長	幹 事 長	〃	〃	副 會 長	會 長
甲斐光威	高久俊昭	伊藤隆	高橋信之	細川博	宮田栄	福地一芳	佐藤悦郎	佐藤富士雄	磯目昭雄	鈴木良作	鈴木昌明	平野博久	本田文孝	大堀順一	江川一正	小崎重信	佐藤政利	二瓶隆男
〃	〃	〃	町職員	会社員	県職員	農機業	歯科医	〃	設計業	〃	〃	〃	建設業	飲食業	会社員	町職員	理美容業	町職員

祝 会工同窓会総会

今日の幸わせも繁栄もみなご先祖のおかげ

仏壇・仏具・神棚の専門店
豊かな心を創る

仏壇の
保志



会津若松市日新町3-8 TEL 26-6121

躍進を続ける
保志グループ
㈱保志
会津木工産業㈱
㈱保志卸センター
ホシドラジール
ホシセン商事㈱
保志販売㈱

ふとんのことなら

ふとんの **フタタ**

藤田製綿工場

会津若松市神指町大字南四合字幕ノ内東411
電話 27-5034

伝統工芸品との
ふれあいをもとめる
会津ぬり製造問屋

会(有)丹羽漆器店

取締役社長 丹羽 登

〒965 会津若松市大町四ノ町10 ☎ 0242-25-0354(代)

土木建築請負業

株式会社 丸庄工務所

代表取締役 荒川 英世

福島県大沼郡会津高田町字水戸乙2375
TEL (02425) 4-2011

フランスベッド
クリナップ流し台 家具のマルケン
蔵王印家具

(株)松坂屋家具店

取締役社長 村松 賢一郎

会津若松市御旗町 電話27-6629
会津若松市七日町 電話27-3630

磐梯山のお酒

清酒

會津
ほまれ

ほまれ酒造株式会社

福島県会津喜多方市松山町
電話 02412-2-5151

電気工事のことなら なんでも相談

水 六 電 気 商 会

取締役社長 水野 力

会津若松市山鹿町
電話 (0242) 26-3636



割烹

萬花楼

会津若松市
電話(22)4567(代)

創業90余年の伝統と印刷の魂力を創るよう
に直視するスタッフの
心根に確たる信頼をよ
せながら、その道程の
彼方に途方もない夢を
描き続けております。

中央通り 郵便局 常陽銀行
神明通り 丸八商店
市役所
株式会社
丸八商店
会津若松市馬場1-41
Phone 0242-22-4121

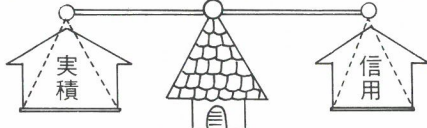
静かな庭園(三宅邸)に囲まれた

料 亭 **「10月より新装にオープン」**
米 熊

会津若松市栄町7番49号 電話(代)22-0399番

- お見合いからお祝い行事
- 御家族連れのお食事●御商談
- 新年会●忘年会●御中食の接待
- 御先祖の御供養も喜んでお引き受けいたします

分譲地・注文住宅・建売住宅・土地買入



ミサワ住宅株式会社

本社 会津若松市南千石町4-4 ☎(0242)27-2089(代)

みみどり漆器店

取締役社長 皆川 登

会津若松市日新町8番7号
電話 26-5001番

福島県会津若松市住吉町183

吉田セメント製品販売株式会社

代表取締役 吉田 一 栄

電話 27-4455

写真撮影・カメラの御用は

(昭和16年12月卒)

山内写真館

会津若松市日新町12-28
電話 27-2042 番

躍進する

山平企業グループ

丸善石油特約店 (東山温泉 愛友ホテル)
片平石油販売(株)
片平産業(株)
山平商事(株)スーパー山平
東山温泉
(株)愛友ホテル
TEL(0242)26-3344

代表取締役社長 片平 忠 正

本社 福島県会津若松市本町1番1号 ☎ 0242-27-3600(代)

誠意と技術で奉仕する
若松ガスグループ。

若松ガス株式会社
若松ガス化学工業株式会社
若松ガス燃料機器株式会社
若松ガス不動産株式会社

代表取締役社長 高木 厚 保

会津若松市千石町4番16号 ☎0242 ㊟ 1311(代)

土木工事請負業

有限会社 横山組

代表取締役 横山 二 郎

福島県大沼郡会津高田町字高田甲2853
電話 02425-4-2047

文具・事務用品・事務機・紙製品・画材用品
書籍と文具

吉 田 ス ト ア

代表取締役 吉田 栄 治

会津若松市川原町1-9 電話 26-0123

全 会 津 会 工 会

会 長 吉 田 一 栄 副会長 梁 取 秀 和 副会長 片 平 忠 正

副会長 山 添 茂 " 唐 橋 国 八 " 二 瓶 隆 男

株式会社 若松タクシー

本社 会津若松市鶴ヶ城前
電話 代表 (26) 6655

ご旅行のアドバイザー

新婚旅行から団体まで

若タク旅行センター

電話 代表 (26) 7235

会長
井上武美



島木
叢登

り、大層楽しく拝聴致しました。

出席二十一人。中でも遠く広島から、藤田正次氏（十四C）に御参加を戴きました。

さて、創立八十周年記念行事と事業について、当日吉田会長より御説明と協力要請がありました。

に付、盛んに質問と意見もあり慎重に審議を行なったわけです。総論勿論賛成なのですが、膨大な資金需要に對し、どれだけの寄附が集められるか、いささか気の重いことであります。

昨年の本誌に、久し振りに近畿会工会の様子をお知らせしてから、早くも一年過ちました。昨年は、十一月九日（日）に恒例の第二

秋たけなわの候、母校並びに会工同窓会の、益々の御隆昌を御慶び申し上げます。



甲斐なく、五月十三日死去なされた事です。一昨年は学位を得られ、当会工会上りして、今後の御活躍を期待していた矢先の事であります。返す返すも残念でなりません。慈に謹しんで、御冥福をお祈り致します。

八十周年記念行事、事業は正に重大な決意と努力を要すると思います。何とか成功させたいものであります。

第二十二回
近畿会工会総会

坂下支部の総会を開催するにあたり、御繁忙中にもかかわらず、地元町長さん始め学校ご当局並びに会津会工会より、来賓多数の御臨席をいただき、第三回支部総会を開催する事が出来ました事は、これに伴い日頃皆様方より支部発展に寄せられました、御指導御鞭撻の賜と深く感謝申し上げます。

御来賓の皆様方より、尚一層の御指導御鞭撻を賜わりますと共に、會員皆様方の御協力をお願い申し上げます。ごあいさついたします。

歩みをつづけております。今後も、会津会工会の坂下支部として、方部同窓生の末長い親睦をはかりながら、母校発展に微力をつくす所存でございます。

會長 星 栄祐
(昭和十八年機械卒)
綱ホシ製作所取締役社長
副會長 渡部陽一

永年東海工会発展のため、御尽力下さいました皆川明会長の後任として、昭和五十四年度より会長を勤めて戴きました鈴木登さんが、五十五年十一月より持病の発作により、再三入院

名古屋市中昭和区御器所
小林 修一
四日市市西浦
岩渕 博
名古屋市中川区麦知町
佐々木由正
名古屋市中南区下町

海会工会運営のため、微力
乍ら尽力致す所存であります。
遠く東海の地より、母
校並びに会工会の発展をお
祈り致します。

川島 記

一栄会長殿並びに鈴木甲意と云わざるを得ません。本部同窓会からは、実行窯業科長殿の御出席を戴いて、盛大に開催することが出来ました。御両所には誠に有難うございました、毎会欠席ばかりして、誠に申し訳ないことであります。いろいろと故郷のお話もあり

会長 星 栄祐

た。今後共何卒よろしく御指導下さいますよう、お願い申し上げます。

尚新役員は、次の通りで

北芝電気株式会社
代表 松下貞夫
(昭二十六年電気卒)

より会長辞意を表明され、五十六年三月二十九日役員会を召集互選の結果、新会長に川島巖を推せん、全六月の東海会工会総会に於て可決就任する運びとなりま

名古屋市中区其田町
 幹事長 宮田 昌彦
 副幹事長 春日井市山野町
 佐瀬 一信
 小牧市大字小木
 浅沼 定雄
 総務幹事

きのかいこう

時代の変化から来る自然の「価値観の多様化」と言う

る種の安堵感を覚えるところ
です。

青春時代の一時期を、同じ
じ学び舎で過ごした共通の
感懷、そこには時代が移り

同志会の創立は、いつの日かでないが、戦後間もない頃からあった様で、

佐藤 実

くばかりが……」と言う事
でか一泊二日で故郷会津へ
の旅なども計画し、三回を

たので、報告致します。
東海会工会新役員の顔ぶれ（五十六年六月）

刈谷市泉田町半崎
渡辺 雄三
豊田市朝日町
皆川 克久
四日市市竜川

市内一の人口を擁する、わきも、その裏側は、五市に百名を越す会工同窓生が、日夜生活しているものと思われるが、こちらは未だ大同団結が行われず、下母校の八十周年記念行事

町がホッパホッパとこの度
本校同窓会から「いわき
工会」の近況を一筆との依
頼に接したが、この「いわ
き」で最も組織の大きい呉
羽化学、日本化成を中心と
したこの「同窓会」の近
況と、新校採用者による主
て地元高校から採るようにな
った為であります。（地
元にも工業高校が増えた）
吾々の同窓会の活動が最も
活発であった時期は昭和
四十年代及びそれ以前の頃

けとめております。しかし、だからと言って、同窓会はもう解散しようと言う人が一人も居ない事も事実であります。行事への参加が少

ルジイ」を感じている事が明らかであり「これでよいのだな」と思っているこの頃であります。皆々様の所は、如何でしょうか。

輩が集まり歓迎してくれ、先輩後輩のつながりを持ち続け、三十年余は経っている。初代会長、千葉吉郎氏（昭和五年心化卒）も健在だ。いわき市金山に住まわ

名古屋瑞穂区密柑山
 齋藤 長市
 小牧市小牧新田
 栗城 虎雄
 各務原市那加雄飛丘町
 者吳 建

常任幹事
安藤 山口雄
半田 出口町
斎藤 正穂
岐阜県養老町鷺巣
石田 高志
羽島市小熊町
京 由男
最前端となり、約二メートル、

〃 〃

呉羽化学同窓会
会長 坂

呉羽化学は、いわき市の

「恋会の巻」
坂内 信男
「浜風が吹き、冬は毎日太
陽とて恵まれ、雪も降らず、
迎会等が恒例化しております
が、現在生、ビアパ

をされてい。人の出入りは多く、一時は四十名を越す時もあったが、昭和四十一一年の入社が最後に減る一方、その幽止めにOB及び警城地区の居住者も一緒にいる。又息子達が、高校野

多治見市見坂町	川島 巖	鈴鹿市長太新町	井上 則文	豊田市大字岩倉	皆川 三郎
会長	副会長	〃			

尾張市市霧ヶ丘五庫
相原 良弘
清洲町新清洲
外地域幹事
職域幹事
若干名
以上のメンバーにて、東

近くには、八幡太郎義家の
「吹く風を勿来の関と思え
ども、道もせに散る山桜か
な」で有名な勿来の関があ
ります。この地は夏は涼し

雪國で育った会津っ子には、
まことに住み心地のよい所
であります。

呉羽化学には、約二千五
百人の従業員が居ますが、
その中に吾が同窓生が五十
て考えられる事は、中高年



日本化成

つた。現在総員三十名。会の年中行事は、忘年会、勤続表彰、昇任時の祝宴、退職送別宴などと、酒席の催しが多いが最近は、「働

て、負けじと母校の応援に馳せ参じる今日この頃である。

いわき会工会について――

佐藤実

吳羽化学同窓会の巻

坂内信男

呉羽化学は、いわき市の最南端にあり、約2kmで茨城県に接しています。又近くには、八幡太郎義家の「泣く風を勿来の関と思え」とも、道もせに散る山桜かな」で有名な勿来の関があります。この地は夏は涼し	い浜風が吹き、冬は毎日太陽に恵まれ、雪も降らずに雪国で育った会津っ子にはまことに住み心地のよい所であります。 呉羽化学には、約二千五百人の従業員が居ますが、その中に吾が同窓生が五十
---	--

迎会等が恒例化しておりましたが、現在は、ビアパーティ、定年退職者の慰労会くらいになりました。これは、たくさんの行事を行っても参加率が低くなった為であります。その理由として考えられる事は、中高年



日本化成同窓会親睦旅行

日本化成同窓会

佐藤実

同窓会の創立は、いつの日か定かでないが、戦後間もない頃からあった様で、新入社員が入って来ると先輩が集まり歓迎してくれ、先輩後輩のつながりを持ち続け、三十年余は経っている。初代会長、千葉吉郎氏（昭和五年応化卒）も健在で、いわき市金山に住まわれ、市民活動（区長）などをされている。人の出入りは多く、一時は四十名を越す時もあったが、昭和四十年の入社が最後で減る一方、その幽止めにOB及び警城地区の居住者も一緒に、同窓会を開く様になった。現在総員三十名。

会の年中行事は、忘年会、勤続表彰、昇任時の祝宴、退職送別宴などと、酒席の催しが多いが最近は、「くばかりが……」と言う事でもか一泊二日で故郷会津への旅なども計画し、三回を数えて好評！ 社内では立場上の硬さがあるが、同窓会の集まりとなると肩がほぐれるから妙である。

郷関を出て三十年から四十年、夫々に地域社会に根っこをおろし、時にはいわき市議（蒲生伸吾、昭和二十六年電気卒）で活躍したり、工場で培った技術をタイ国TCC社で、工場長（物江恒雄、昭和十八年応化卒）と、国際的に働いて、又息子達が、高校野球に情熱をかけるさまを見て、負けじと母校の応援に馳せ参じる今日この頃である。

昭和
56年

各部活躍の結果

バドミントン 県団体優勝
新 体 操

高校体育大会

会津地区大会
福島県大会
結果

陸上 部

地区大会
五千m 一位
一万五千m 一位
二百m 二位
走り幅跳 三位
四百mリレー 二位
総合 二位
トラックの部優勝

体 操 部

地区大会
体操競技団体優勝
個人総合 一位
床運動 二位
あん馬 三位
つり輪 一位
跳馬 二位



地区団体優勝!! 器械体操平行棒の演技

水 泳 部

地区大会
総合第一位
百m自由型 一位
百mバタフライ 一位
四百mリレー 一位
二百mバタフライ 一位
二百mメドレーリレー 一位

県大会
総合第二位
百m自由型 二位
百mバタフライ 二位
四百mリレー 二位
二百mバタフライ 二位
二百mメドレーリレー 二位

新体操
団体優勝
個人総合 一位
徒身体操 二位
棒 三位



柔道部地区大会優勝

柔 道 部

地区大会
団体優勝
個人 一位
軽量級 二位
中量級 三位
重量級 三位

県大会
団体第三位

弓 道 部

地区大会
団体 二位
個人 三位

県大会
団体 二位

剣 道 部

地区大会
団体 二位
個人優勝

卓 球 部

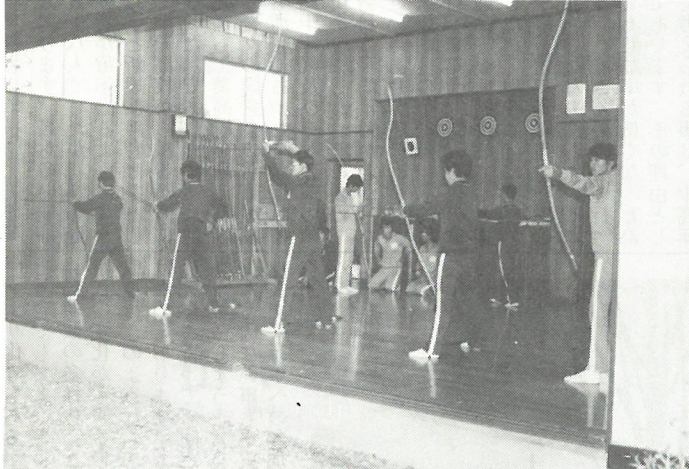
地区大会
シングルス 一位
ダブルス 三位

県大会
団体優勝
個人 一位
ダブルス 二位
シングルス 二位

地区大会
団体優勝
個人 一位
ダブルス 一位



バドミントン部 昭和56年福島県高校体育大会優勝(11回目)



新築なった弓道場で練習に励む部員達

サ ッ カ ー 部

地区大会
優 勝

バ ス ケ ッ ト 部

地区大会
優 勝

バ レ ー 部

地区大会
優 勝



サッカー部、地区優勝、決勝のシュート

編 集

後 記

「もの云えは口びる寒し秋の風」
何はともあれ、現代ではコミュニケーションによって意志の疎通を計り快適な環境の建設に努力されていることは各々が先刻御承知である。昔から「もの云わぬは腹ふくるわざ」ともいわれているから腹藏なくものを申したいところである。しかし「人を見て法を解け」とかも云う、これなどは深い洞察力と英智のひらめきがないと用をなさない。そうなる相手方にもそれを申すことのおこがましさに口びるが寒くなる思いである。
近年多発している暴力生徒の発生防止には、家庭、

学校、地域社会の各々の立場で協力しコミュニケーションの場を作ると云うことは既製の事実であるが、その中でも良き友の存在は一つの良薬のように思う。今年また、つがなき遠来の友の集い同窓会が開催されることは、意義深いことであり誠に嬉しい限りである。
先頃は心配された大型台風二十二号も大禍をもたらさず去り、実った稲の刈り取りが終れば、観光会津に厳しい冬がやって来るのもそう遠くはない。それでは皆々様の御健康と御健闘をお祈り申し上げ編集後記とします。

島津理化器械株式会社 福島県代行店

株式会社 福 陽 社

〒960-02 福島市飯坂町平野飯塚10番地 電話(0245)42-2351(代表)

代客
酒亭 河童
会津若松市清水通
TEL 24-9202

毒物劇物一般販売業登録
計量器販売等事業登録
医療器具販売業登録
理化学器械器具
化学工業薬品等販売

北 深 科 学 商 会
大 竹 敏 夫

〒965 事務所 福島県会津若松市大町四之町17番地
電話(市外局番0242) 23-1914番